

<寄稿>

★モンゴルデーに寄せて★

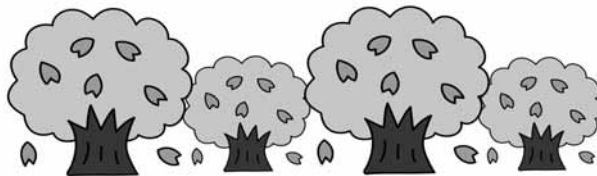
新モンゴル小中高一貫校 校長 P. ナランバヤル



新モンゴル小中高一貫学校と岩倉市の中学生との生徒交流が始まってから5年が経ちました。その間、本校から76人の中高生、5人の引率教員が岩倉市を訪問し、市内中学校を訪れ、一般家庭にホームステイしています。岩倉市からは70人の中学生と15人の引率の

方がモンゴルを訪問し、本校の林間学校でゲル体験をし、ホームステイしています。5年の相互訪問は我々の相互理解や友情を育んでくれました。

今年の3月1日から15日まで日本の大学への留学を目指す新モンゴルの卒業生10名程度が日本での生活の準備のため希望の家で合宿をさせて頂きお世話になることになりました。モンゴルの将来を背負っていく志ある有望な若者たちです。彼らは岩倉市民の温かい心に触れて、親日家、知日家になり、モンゴルと日本の架け橋になって欲しいと願っています。



モンゴルデー ようこそ岩倉へ

モンゴルの友達を迎えて
3月4日(日)

生涯学習センター研修室1

第1部 10:00~11:30

派遣団OBとモンゴル留
学生交流

第2部 14:00~15:30

モンゴルでの体験談
モンゴル紹介映像など

モンゴルに興味、関心のある人や今後派遣団に応募したい人、ぜひ第2部に参加してください。(参加費無料)

お問合わせ

国際交流協会

内藤09017437767

尾関09042160920

平成30年度総会 & 国際交流セミナー

平成30年度の岩倉市国際交流協会通常総会を以下のとおり開催します。総会後には、セミナーも企画していますので、是非皆様ご参加ください。

日時：4月22日(日) 午後2時～

会場：くすのきの家(ふれあい交流ホール)

日本語ひろば岩倉へ参加して

毎月第1～4水曜日、午後7時半～9時に岩倉市生涯学習センターで外国人支援のための日本語教室「日本語ひろば岩倉」を開催しています。

「日本語ひろば岩倉」は、色々な想いで日本語を学ぼうとやってきた学習者の皆さんと、ボランティアのスタッフで活気溢れる活動を行っています。

今回は、この「日本語ひろば岩倉」に参加してくれた学習者とボランティアスタッフの体験記をご紹介します。

右が、ベトナムから2015年3月に来日した学習者のグエン・ドック・トアンさんの体験談です。

トアンさんは2017年の12月に日本語能力試験のN1を受験するなど、とても努力して日本語を学んでいます。仕事のためにやむなく遅刻してしまっても、教室が終わる前30分でも来て、勉強していました。今年2月にベトナムへと帰国されましたが、習得した日本語を活かし、一層活躍されることでしょう。

私は2015年9月に岩倉生涯学習センターで日本語の勉強を始めました。あの時、日本語はまだ下手で日本での生活は困ることが沢山ありました。先生方に日本語に限らず日本の習慣も教えてもらってどんどん自分の生活が充実するようになって日本での生活が楽しくなりました。

毎週水曜日の夜にセンターでの勉強時間は1時間半しかありませんが先生方がいつも笑顔で熱心に教えてくれたおかげで私は沢山のことを学ぶことができました。自分の日本語が上達して日本人との話が楽しくなりました。その上、様々な出身国の学習者と交流できて様々な国の文化と人間がわかるようになって、とても楽しかったです。私にとって、センターでの勉強時間は一番意味がある時間です。日本語を勉強したり交流したりしたい世界中の方はぜひ岩倉生涯学習センターに来てください！

グエン・ドック・トアン

▲トアンさんの体験記です。ご本人が書かれた体験記を、写真に撮影して掲載しています。

次に、2017年2月からボランティアスタッフとして参加してくれた、大学生の国立麻由さんの体験記です。国立さんは就職のため、今年度一杯の参加となってしまい「もっと早く教室のことを知っていたらよかった」と、残念がっていました。とても積極的に教室に参加され、周囲にはいつも学習者の皆さんの笑顔がありました。

私は、去年2月の終わりから教室に参加させていただきました。

教室で学習者さんに日本語について質問されると日本語の難しさに改めて気づきました。

しかし、学習者さんにとって難しいという思いは動機付けの点においても、その先の学習についても良くない要素になってしまうと思いました。ですので、教室ではなるべく楽しく、一緒に学習する協働学習の形を意識しました。

例えば、私たちが海外に行った時に日本語が通じるとうれしそうに感じると思います。

その思いは学習者さんも同じだと思います。学習の途中で、学習者さんの母語を教えるもらったり、複数人で学習している時は、学習者さん同士で母語を教え合うことによって教室の雰囲気良くなり、学習者さんが笑顔になりました。そして何より、教室に行きたいと思えるきっかけになっていると思います。

この経験を通して、日本語を教える立場ではありますが、お互いのことを知ることを意識した協働学習をこれからも続けていきたいと思っています。(国立 麻由)

世界のお惣菜～フィリピン料理を教わりました～

最低気温が－4℃という記録的な寒波襲来の中、1月27日（土）生涯学習センターにおいて、大人20名、子ども6名の計26名が元気に参加しました。清須市在住のマラバット・マリア・レ



▲とても丁寧に教えてくれました。

ティシアさんとお母さまを講師に迎え、カルデレータ（牛肉の煮込み料理）、チャプスイ（野菜の煮物）、卵スープ、プウト・レチェ（プリンと蒸しパン2層のデザート）の4品を作りました。

「カルデレータはレバーペーストが入っているのに臭みがほとんど無かった。」「卵スープは牛乳と卵白の意外な組み合わせだったが、とても飲みやすかった。」「フィリピン料理は初めて食べたけど、食べやすくて美味しかった！」と参加者の皆さんにも大好評でした。

作り方も簡単で、だしの素も日本のものでも代用できる、とのことなので、また家でもぜひ作ってみたいと思いました。

うるがむ to Iwakura!! Vol. 6

第6回は、東小の夢クラブに親子で参加している、中国・大連出身の関 小妹さん（カン ショウマイ）と、息子の姜 中略くん（ジャン ジョングルエ・小2）にインタビューしました。彼女達は、約2年前から岩倉に住んでいます。

編集者（以下「編」）：どうしてそんなに日本語が上手なの？

関さん：私は中学から日本語の勉強をはじめました。通っていた大連の中学校では、日本語と英語を勉強するクラスがあります。自分の希望とは関係なく日本語のクラスに入ることになりました。日本語クラスの子が、英語を学校で勉強することはありません。私は3年間日本語を勉強し、日本語に興味が湧きました。高校でも更に勉強したいと思い、日本語の勉強ができる学校へと進学しました。

編：卒業後はどうしたの？

関さん：母は、私が17歳のときから日本に住んでいたこともあり、20歳のときに日本語学校で勉強するために来日しました。2年間日本語を勉強して、その後帰国し、大連の会社に就職しました。縁あって、一昨年の6月に再来日しました。

編：東小は外国籍の子が多いって聞けるけど、どんな感じ？

関さん：先生はとても優しいです。そして、いろいろな国の子がたくさんいます。国籍関係なくみんな仲良しなので、息子も楽しく学校に通っています。日本の学校は宿題が少ないですね（笑）中国では周りのお母さんが勉強熱心で、幼稚園のときから九九を教えたりしていました。

編：ジョングルエくんは、どんな子に育ててほしい？

関さん：明るく、元気で優しい子に育ててほしいと願っています。これからもずっと岩倉に住みたいと思っています。

編：ありがとうございました。ジョングルエくんの成長私達も楽しみです。



▲とっても素敵な親子でした▲

フィリピンから熱い思いが届きました!

ピナトゥボ活動助成事業として、1月28日から3月14日まで現地でボランティア活動を行っている、大学生の宮田拓夢さんのメールの一部を紹介します。

「日本との違いに戸惑いながらも、様々な体験をして、非常に楽しい毎日を送っています。コーディネートをしてくれたボトンさんの職場で交流したり、小学校や高校で日本についての授業をしたりしています。みんな、ものすごく明るくフレンドリーで、大きな声で挨拶をしてくれるし、僕の話にもかなり興味を示してくれたので、とても楽しかったです。町で出会った人に日本人であることを伝えると、「ありがとう」「こんにちは」と知っている日本語を話してくれます。それほど日本は興味を持たれているのだと実感することが出来ました。ホストのジェクや家族も僕を温かく迎え入れてくれました。

とてもたくさんの人に支えられているのだと毎日、実感しています。確かにインフラ整備などは、お世辞にもよいとは言えません。しかし、ここで生活することによって、人と人の繋がりが楽しい生活の根源になるのだと身にしみて感じる事ができました。

残り1ヶ月、残された時間をめいっぱい充実させ、悔いの残らない滞在にしたいと思います。」



毎日元気に頑張っています!▲

✿ 外国人健康相談 & 外国人法律相談 ✿

協会ではNPO 法人外国人医療センターとの共催で、外国人のための健康相談を行います。相談はボランティアの医師、看護師、保健師、通訳などで行い、秘密は守ります。同時に外国人を対象に法律相談を開催します。就労やビザのことなど法的な相談をお受けします。

また、今回は、外国人を対象に災害などが発生したときのための備えとして避難所の案内、防災マップの提供のほか、非常食の試食なども併せて実施します。

日 時：3月25日(日) 午後2時～4時30分(受付は午後4時まで)

場 所：岩倉団地集会所(東新町釜之口1-1)

対 象：岩倉市及び近隣在住外国人(外国人登録の有無、健康保険加入の有無は問いません)

内 容：1. 健康診断 尿検査、体重・身長測定、レントゲン撮影、歯科医師診療、看護師問診
2. 法律相談
3. 防災のご案内

相談等費用：無料

問 合 せ 先：岩倉市国際交流協会事務局 内藤 (0587-66-7347)

または、外国人医療センター (052-588-7040 火・木・土曜日午後1時～5時)

会 報 COM第94号(2018年3月1日) 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2(内藤方)
発 行 岩倉市国際交流協会 TEL・FAX 0587-66-7347
印 刷 大橋印刷所 HP:<http://www.iies.info/> mail:iies2017@yahoo.co.jp